

新宮団地市営住宅 (No. 28号棟) 建替建設 (機械設備) 工事

設 計 図

図 面 リ ス ト	
M-00	表紙・図面リスト
M-01	機械設備工事 特記仕様書 1
M-02	機械設備工事 特記仕様書 2
M-03	機械設備工事 特記仕様書 3
M-04	全体配置図・配置図・付近見取図
M-05	器具表 機器表 保温・塗装仕様 各種参考図
M-06	屋外給排水配管平面図・布設断面図・屋外給水主管詳細図・公設桧詳細図・汚水桧リスト
M-07	給排水衛生設備 平面図・ガス給湯器廻り参考図
M-08	換気設備 平面図

備考欄	青森県五所川原市金木町中柏木鎌石259番地 日 東 綜 合 株 式 会 社 代表取締役 山中政広 TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493	管 理 建 築 士 一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一	承認	設計	担当		縮 尺 R2.2	工事名称	新宮団地市営住宅 (No. 28号棟) 建替建設 (機械設備) 工事	No. M - 0 0
								図面名称	表紙・図面リスト	

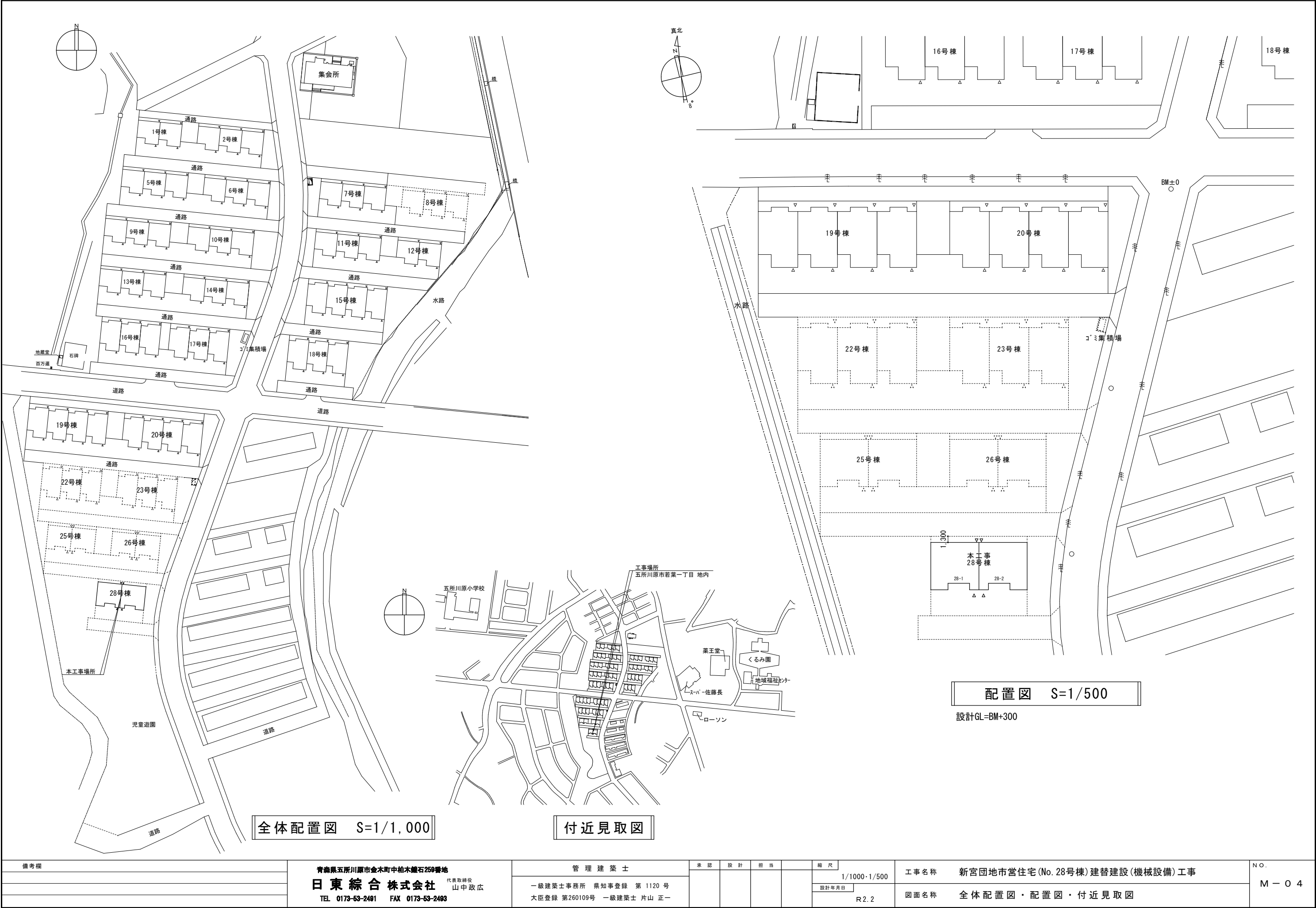
[illegible]

章	項目	特記事項																																																																																																												
①一般共通事項	⑨、技能士の適用	○ 配管施工（配管工事）・建築板金施工（ダクト製作及び取付け）○ 熱絶縁工事（保温工事） ・冷凍空調設備機器施工（チリングユニット・パッケージ型空気調和機の据付及び整備） 工事施工中における技術検査（「中間検査」）の検査時期は次により。監督職員と協議すること。改修工事も新築工事に準じて行う。 ○ 機材が天井仕上等で隠れいれる前（原則１回） ・主要な機器が水没等により不可視となる前 ○ その他発注者が必要と認めた工程（別途監督職員の指示による） 工事写真等を電子データにより検査する際に必要となる機器の準備及び操作は受注者が行う。																																																																																																												
	⑩、技術検査	※ 設けない ・ 設ける 備品は次のものを標準とし備えること。 <u>保護帽、ゴム長靴、雨どい、机、椅子、おびばーど、懐中電灯、消火器、書棚、衣類かけ、掛時計、温度計、冷暖房機器、湯沸かし器</u>																																																																																																												
	⑪、監督職員事務所	工事に必要な工事用電力・水及び官公庁等への諸手續などの費用は、すべて受注者の負担とする。																																																																																																												
	⑫、工事用電力・水・その他	工事用水 構内既存の施設 ・ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ） ※ 利用できない 工事用電力 構内既存の施設 ・ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ） ※ 利用できない 構内に作ることが ※ できる ・ できない																																																																																																												
	⑬、工事用仮設物	※ 別契約の関係請負者の定置する足場・格橋の種類は、無償で使用できるものとする。																																																																																																												
	⑭、足場・その他	・ 本工事で設置する。																																																																																																												
	15、撤去	足場を設ける場合、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成31年度版２．２．１（７）によるほか、設置においては、「手すり先行工法」による足場の組立て等に関する基準」における２（２）手すり設置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと。 ・ 内部足場（ ・ 種、 ・ 種 ） ・ 外部足場（ ・ 種、 ・ 種 ）																																																																																																												
	⑮、提出図書等	・ 内容物の回収を要する機器・配管																																																																																																												
		1) 完成時の提出図書																																																																																																												
		<table><thead><tr><th></th><th>提出図書等</th><th>部数</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※</td><td>完成写真（改修工事の場合は若工前写真を、完成写真を右に入れる）</td><td>※ 1部 ○ 5部</td><td>電子納品CD-Rを提出</td></tr><tr><td>※</td><td>工事写真</td><td>1部</td><td>電子納品CD-Rを提出</td></tr><tr><td>・</td><td>実施工程表</td><td>1部</td><td></td></tr><tr><td>※</td><td>完成図（竣工図）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ A 2 二つ折り製本</td><td></td><td>※ 1部 ○ 2部</td><td></td></tr><tr><td>・ A 4 判二つ折り製本</td><td></td><td>※ 2部 ・ 部</td><td></td></tr><tr><td>・ 黒表紙紺金文字（折りたたみA 4）</td><td></td><td>部</td><td></td></tr><tr><td>※ CADによるSXF（P21）形式、オリジナル形式、及びPDF形式（全ての図面及び特記仕様書を一つのPDFファイルにまとめ提出）</td><td></td><td>1部</td><td>電子納品CD-Rを提出</td></tr><tr><td>※ 施工計画書（工事期間中に監督職員の承認を受けたものをとりまとめたもの）</td><td></td><td>1部</td><td></td></tr><tr><td>※ 承諾図</td><td></td><td>1部</td><td></td></tr><tr><td>※ 施工図 A 1 二つ折り製本</td><td></td><td>※ 1部 ・ 部</td><td></td></tr><tr><td>・ 原 図</td><td></td><td>※ 1部 ・ 部</td><td></td></tr><tr><td>・ 保全に関する資料（標値(1.7.3)(1)に示す内容）</td><td></td><td>1部</td><td></td></tr><tr><td>・ 建築物等の利用に関する説明書</td><td></td><td>○ 戸数×1部</td><td>コピー1部</td></tr><tr><td>※ 機器取扱説明書</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※ 機器性能試験成績書</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※ 官公署届出書類</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※ 主要材料、機器一覧表</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※ 総合試運転調整報告書</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 工事関係資料</td><td></td><td>1部</td><td></td></tr><tr><td>○ 施工者連絡先一覧表</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 打合記録簿（指図書、協議記録等）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※ 機器完成図</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 機器設定値等一覧表（温度、圧力、風量、作動範囲等の設定値及びその設定者等）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 機器付属品・保守工具等一覧表</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※ その他監督職員が指示する書類</td><td></td><td></td><td>監督職員の指示による</td></tr></tbody></table>		提出図書等	部数	備考	※	完成写真（改修工事の場合は若工前写真を、完成写真を右に入れる）	※ 1部 ○ 5部	電子納品CD-Rを提出	※	工事写真	1部	電子納品CD-Rを提出	・	実施工程表	1部		※	完成図（竣工図）			・ A 2 二つ折り製本		※ 1部 ○ 2部		・ A 4 判二つ折り製本		※ 2部 ・ 部		・ 黒表紙紺金文字（折りたたみA 4）		部		※ CADによるSXF（P21）形式、オリジナル形式、及びPDF形式（全ての図面及び特記仕様書を一つのPDFファイルにまとめ提出）		1部	電子納品CD-Rを提出	※ 施工計画書（工事期間中に監督職員の承認を受けたものをとりまとめたもの）		1部		※ 承諾図		1部		※ 施工図 A 1 二つ折り製本		※ 1部 ・ 部		・ 原 図		※ 1部 ・ 部		・ 保全に関する資料（標値(1.7.3)(1)に示す内容）		1部		・ 建築物等の利用に関する説明書		○ 戸数×1部	コピー1部	※ 機器取扱説明書				※ 機器性能試験成績書				※ 官公署届出書類				※ 主要材料、機器一覧表				※ 総合試運転調整報告書				・ 工事関係資料		1部		○ 施工者連絡先一覧表				・ 打合記録簿（指図書、協議記録等）				※ 機器完成図				・ 機器設定値等一覧表（温度、圧力、風量、作動範囲等の設定値及びその設定者等）				・ 機器付属品・保守工具等一覧表				※ その他監督職員が指示する書類			監督職員の指示による
		提出図書等	部数	備考																																																																																																										
	※	完成写真（改修工事の場合は若工前写真を、完成写真を右に入れる）	※ 1部 ○ 5部	電子納品CD-Rを提出																																																																																																										
	※	工事写真	1部	電子納品CD-Rを提出																																																																																																										
	・	実施工程表	1部																																																																																																											
	※	完成図（竣工図）																																																																																																												
・ A 2 二つ折り製本		※ 1部 ○ 2部																																																																																																												
・ A 4 判二つ折り製本		※ 2部 ・ 部																																																																																																												
・ 黒表紙紺金文字（折りたたみA 4）		部																																																																																																												
※ CADによるSXF（P21）形式、オリジナル形式、及びPDF形式（全ての図面及び特記仕様書を一つのPDFファイルにまとめ提出）		1部	電子納品CD-Rを提出																																																																																																											
※ 施工計画書（工事期間中に監督職員の承認を受けたものをとりまとめたもの）		1部																																																																																																												
※ 承諾図		1部																																																																																																												
※ 施工図 A 1 二つ折り製本		※ 1部 ・ 部																																																																																																												
・ 原 図		※ 1部 ・ 部																																																																																																												
・ 保全に関する資料（標値(1.7.3)(1)に示す内容）		1部																																																																																																												
・ 建築物等の利用に関する説明書		○ 戸数×1部	コピー1部																																																																																																											
※ 機器取扱説明書																																																																																																														
※ 機器性能試験成績書																																																																																																														
※ 官公署届出書類																																																																																																														
※ 主要材料、機器一覧表																																																																																																														
※ 総合試運転調整報告書																																																																																																														
・ 工事関係資料		1部																																																																																																												
○ 施工者連絡先一覧表																																																																																																														
・ 打合記録簿（指図書、協議記録等）																																																																																																														
※ 機器完成図																																																																																																														
・ 機器設定値等一覧表（温度、圧力、風量、作動範囲等の設定値及びその設定者等）																																																																																																														
・ 機器付属品・保守工具等一覧表																																																																																																														
※ その他監督職員が指示する書類			監督職員の指示による																																																																																																											
	2) 貸与されたCADデータは本工事は本工事中の施工図及び完成図（竣工図）の作成のため以外に使用しないこと。																																																																																																													
	3) 施工図及び完成図（竣工図）の提出にあつては、CADデータにより入力保存したものとすると、写真の電子納品は写真機形式のものとする。																																																																																																													
	4) 建築物等の利用に関する説明書は、「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き（本編）（国土交通省大臣官庁審議部）」を参考にするものとし、保安計画は必ず作成すること。なお、改修工事の場合は既存の保安計画等の活用について検討すること。																																																																																																													
⑯、耐震措置	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。 1) 機器の据付及び取付 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）、に地域係数（※1.0・0.9）及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 2) 局部震度法による建築設備機器（水槽類はオイルタンクを含む）の設計用標準水平震度（K _s ） <table><thead><tr><th rowspan="3">設置場所</th><th rowspan="3">機器種別</th><th colspan="4">耐震安全性の分類</th></tr><tr><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">上層階・屋上及び塔屋</td><td>機器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>機器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">1階及び地下階</td><td>機器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></tbody></table>	設置場所	機器種別	耐震安全性の分類				特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階・屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																															
設置場所	機器種別			耐震安全性の分類																																																																																																										
				特定の施設		一般の施設																																																																																																								
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																																																									
上層階・屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																									
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																																																																									
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																									
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																									
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																									
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																									
1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																																																																									
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																																																																									
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																									
	注1) 上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上建の場合は上層4階とする。中間階とは地下階及び1階を除く各階で上層階に該当しないもの。屋外設置機器の耐震は1階及び地下階に準ずる。 注2) 設置場所の区分は機器を支持している床部分にしたがつて適用する。床又は壁に支持される機器は当該階を適用し、天井面より支持（上層床より支持）される機器は支持部材取付階の階（当該階の上層）を適用する。 3) 本施設は（※一般の施設・特定の施設）とする。 4) 重量が10kg以下の比較的軽質な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくともよい。取付けについては、取付け下地を入念に施工し、機器メーカーの指定する方法で確実に取付けを行うものとし、監督職員の承認を受ける。 5) 重量機器は次のものを示す。（水槽類にはオイルタンクを含む。） ・給水機器（ ・ 排水機器（ ） ・換気機器 ・空調機器 ・熱源機器 ・防災機器 ・監視制御設備 ・危険物的置装置 ・火を使用する設備 ・避難経路上に設置する機器 6) 配線・配管及びダクトの支持 ※標準仕様書及び標準図による。 7) 設計用标准地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。 標識仕様書に定める試験を行い、測定表を監督職員に提出する。 溶接部の非破壊検査 対象配管系統 ・冷水水 ・冷却水 ・消火（水用） ・油 ・ガス																																																																																																													
⑰、試験																																																																																																														

	項目	特 記 事 項																																																																																				
① 一般共通事項	⑬ 総合試験運転調整	各機器の個別運転調整後以下記の総合調整を行い、測定報告書を監督職員に提出する。 ・ 風量調整 ① 水量調整 ・ 室内外空気の温度測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音測定 ・ 端末水栓の残留塩素濃度の測定 ・ 給用水の水質測定 ・ 雑用水の水質測定																																																																																				
	⑭ 配管材料及び配管付属品	1) 配管材料の規格は標準仕様書による。（管種は表「配管材料」によるものとし、その他は図示による） 2) 特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。 弁類の規格（耐圧）は各設備項目の表記による。 3) 鋼管用伸縮継手の種類 ※ ベローズ形（※ 複式 ・ 単式） ・ スリーブ形 4) フレキシブルジョイントの全長 ※ 標準仕様書による ① 図示による 5) スリーブは標準仕様書によるほか、下表による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>スリーブ区分</th><th>材質</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビットや土間、ビットや外壁土中への壁・壁裏通</td><td>つば付銅管</td></tr> <tr> <td>地中埋及び多層ビット内の壁・壁裏通（ビット換気を除く）</td><td>硬質塩化ビニル管（V P）</td></tr> </tbody> </table> 注）つば付銅管をつば付塩ビ管に変更する場合は図示による。	スリーブ区分	材質	ビットや土間、ビットや外壁土中への壁・壁裏通	つば付銅管	地中埋及び多層ビット内の壁・壁裏通（ビット換気を除く）	硬質塩化ビニル管（V P）																																																																														
スリーブ区分	材質																																																																																					
ビットや土間、ビットや外壁土中への壁・壁裏通	つば付銅管																																																																																					
地中埋及び多層ビット内の壁・壁裏通（ビット換気を除く）	硬質塩化ビニル管（V P）																																																																																					
②	⑮ 計器類	1) 温度計は標準仕様書・標準図によるほか、図示した箇所に取付ける。（配管用はＬ形・ダクト用は円形） 2) 瞬間流量計 ※ 着脱可能形（※ 全数 ・ 図示による） ・ 固定形（止水コック付） 着脱可能形の指示部（※ ４０Ａ用 個 ・ １００Ａ用 個 ・ ２５０Ａ用 個）を付属する。 3) 積算流量計は図示した箇所に取付ける。 4) ばい煙濃度計は図示した箇所に取付ける。 5) 熱源機器には、個々に地震感知器を付属する。 6) 圧力計・連成計・水高計及び電流計等の計器類には、正常値を示す赤指針を設ける。																																																																																				
	⑯ 配管施工	1) 図示の箇所に建物専入部配管の変位吸収配管を施工する。なお、施工方法は下記による。 標準図 施工４（※ (a)） 施工５（※ (b) ・ (c)） 2) 絶縁層手取付箇所 ※ 標準仕様書による ・ 図示による 3) 呼び径50以下の配管のねじ加工は原則として乾造ねじ加工とする。ただし、樹脂ライニング鋼管（ポリ樹脂鋼管を除く）のねじ加工は切羽ねじとする。これにより難い特別な事情がある場合は、監督職員の承認を受ける。 4) 排水管の90°曲管は原則として大曲管とする。 5) 冷水、フライン及び冷温水配管の吊りバンド等の支持部は、合成樹脂製の支持支保を使用する。 6) 土間配管は、全て溶融亜鉛めっき製またはステンレス（SUS304製）の吊りボルトにて、土間または大引きより固定する。 7) 蒸気管の横走り管は、図示の箇所に座面防止用形鋼振れ止め支持を行う。なお、施工方法は下記による。 標準図 施工１・２（b）（※ (1) ・ (2) ・ 図示） 8) 冷媒管の吊り用支持材として保護プレートと、断熱材被覆鋼管と吊り金物との間に設け、自重による断熱材の食込みを防止する。 9) 標準仕様書記載以外の天井吊形、カセット形、天井隠い形の機器の支持は吊り用ボルトで行い、振れ止めを施したものとす。																																																																																				
③	⑰ 支持金物及び固定金具	1) ボンプ・屋外機器のアンカーボルト・ナット及び屋外配管・ダクト、屋内床下に使用する支持金物は溶融亜鉛めっき製またはステンレス（SUS304製）とし、ボンプ・屋外機のナットにはナットキャップ（樹脂製）を取付ける。 2) 振動を伴う機器用支持金物のナットは、ダブルナットとする。 3) 冷水、フライン及び冷温水配管の吊りバンド等の支持部は、合成樹脂製の支持支保を使用する。 4) 土間配管は、全て溶融亜鉛めっき製またはステンレス（SUS304製）の吊りボルトにて、土間または大引きより固定する。 5) 蒸気管の横走り管は、図示の箇所に座面防止用形鋼振れ止め支持を行う。なお、施工方法は下記による。 標準図 施工１・２（b）（※ (1) ・ (2) ・ 図示） 6) 冷媒管の吊り用支持材として保護プレートと、断熱材被覆鋼管と吊り金物との間に設け、自重による断熱材の食込みを防止する。 7) 標準仕様書記載以外の天井吊形、カセット形、天井隠い形の機器の支持は吊り用ボルトで行い、振れ止めを施したものとす。																																																																																				
	⑱ 土工事	1) 配管は下記による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="2">埋設深さ（m）</th><th colspan="2">土工事区分</th><th colspan="2">埋戻し用土</th><th colspan="2">埋設表示</th><th rowspan="2"></th><th rowspan="2"></th></tr> <tr> <th>横内一般</th><th>横内車路</th><th>機械土工</th><th>人工土工</th><th>掘削土</th><th>客土</th><th>テープ</th><th>埋設標</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水管</td><td>図示</td><td>図示</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>排水管</td><td>※</td><td>※</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 2) 公道部は、水道事業者・下水道事業者・ガス供給事業者及び道路管理者規定による。 3) 設計図書に示された配管工事で掘削深さが１，５００mmを超える場合は、図示による方法で土留めを行う。 4) 土中埋設配管は、配管径１００mm・配管上１００mmを山砂等で埋め戻す。 5) 残土（発生土を含む）処理 ※ 横内指示の場所に敷き均し ・ 横内指示の場所に堆積 ① 横外掘出適正処理（※ 本工事（約２km・掘出調査等）を提出する） ・ 別途工事）		埋設深さ（m）		土工事区分		埋戻し用土		埋設表示				横内一般	横内車路	機械土工	人工土工	掘削土	客土	テープ	埋設標	給水管	図示	図示	○		○	○	○				排水管	※	※	○		○	○																																															
	埋設深さ（m）			土工事区分		埋戻し用土		埋設表示																																																																														
	横内一般	横内車路	機械土工	人工土工	掘削土	客土	テープ	埋設標																																																																														
給水管	図示	図示	○		○	○	○																																																																															
排水管	※	※	○		○	○																																																																																
④	⑲ 貫通部の処理	標準仕様書によるほか、冷温水管及び蒸気配管の貫通部には、軟管を入れ隙間を断熱材等で埋める。																																																																																				
	⑳ 保温	1) 建物内の空気抜き管の保温は空気抜き管（空気抜き管を含む）を施し、仕様は標準仕様書の冷温水管の項による。 2) 空気調和設備、給水設備の屋外露出配管（弁・フランジを含む）は、標準仕様書第２編（表２・３・６・e2（ハ））とし、厚さは呼び径２５mm以下は５０mm、呼び径３２mm以上は４０mmとする。 3) 外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温 ※ 要 ・ 不要 4) 排気ダクトの全てに保温を施す。 5) 全熱交換器の外気取り入れダクト、給気ダクト及び排気ダクトは全て保温する。 6) 冷媒管（冷媒用断熱材被覆鋼管）の外装 屋内露出部 ※ 化絨ケース（※ 樹脂製 ・ SUS製） ・ 外装なし 屋外架空部 ※ 化絨ケース（※ 樹脂製 ・ SUS製） ・ 7) 高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚さは mmとする。 8) 量水熱管内の保温を（※ 行う ① 行わない） 9) 一般居室及び廊下の屋内露出配管に使用する保温外装材の種類 ・ 合成樹脂製カバー１（シートタイプ） ※ 合成樹脂製カバー２（ジャネットタイプ） 10) 屋外架空部の消火管については給水管に準ずる。 11) 消火用充水機の保温 ※ 施工する ・ 施工しない 12) 消火設備の保温 屋内消火栓用配管 ※ 施工する ・ 施工しない スプリンクラー用配管 ※ 施工する ・ 施工しない 13) 湯沸器の給排水配管（二重管）の隠蔽部は、保温（ホ・イ・ＤＸ）を行う。 14) 温水暖房でパルヒーターへの屋内露出管は保温しない。 15) 蒸気管の保温 暖房する室の暖房用蒸気管（主管を除く）及び分枝管 ※ 施工しない ・ 施工する 蒸気通り管（屋内露出を除く） ※ 施工しない ・ 施工する 16) 床下縦梁内（ビット内を含む）の保温に使用する着色アルミガラスクロスの外装色の分類は、下表を標準とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>配管区分</th><th>外装色</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>消火管</td><td>白系</td></tr> <tr><td>給水管</td><td>青系</td></tr> <tr><td>給湯管</td><td>黒系</td></tr> <tr><td>冷水・冷温水管</td><td>緑系</td></tr> <tr><td>温水・蒸気管</td><td>赤系</td></tr> </tbody> </table>	配管区分	外装色	消火管	白系	給水管	青系	給湯管	黒系	冷水・冷温水管	緑系	温水・蒸気管	赤系																																																																								
配管区分	外装色																																																																																					
消火管	白系																																																																																					
給水管	青系																																																																																					
給湯管	黒系																																																																																					
冷水・冷温水管	緑系																																																																																					
温水・蒸気管	赤系																																																																																					
⑤	㉑ 消音内貼り	1) 施工箇所は図示によるものとし、内貼りチャンパー類の寸法は外形寸法とする。 2) 吹出口に接続するチャンパー類の消音内貼りは図示による。																																																																																				
	㉒ 塗装	1) 壁面取付の吹出口・吸込口チャンパーの内面（消音内貼りを施したものは除く）は、黒色系の塗装を行う。 2) 制気ロックス内面（居室・便所の見えかき部）に使用するダクトには塗装を行う。 3) 露出金属電線管は次の部分の塗装を行う。 ・ 屋外架空部 ・ 機械室 ・ 屋内一般 ・ 4) 露出配管は次の部分の塗装を行う。 ・ 居室 ・ 便所 ・ 湯沸室 ・ ① 洗面脱衣室 既存管体の穿孔は、原則としてダイヤモンドカッターを使用し、金属探知により電源設備が停止できる付属装置等を用いて施工する。																																																																																				
⑥	㉓ はつり																																																																																					

備考欄	青森県五所川原市金木町中柏木館石250番地 日東綜合株式会社 <small>代表取締役 山中政広</small> TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493	管 理 建 築 士	承 認	設 計	担 当		縮 尺	工事名称	新宮団地市営住宅(No. 28号棟)建替建設(機械設備)工事	N O . M - 0 1
		一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一					設計年月日	図面名称	機械設備工事 特記仕様書 1	
						R 2. 2				

備考欄	青森県五所川原市金木町中柏木鎌石250番地 日 東 綜 合 株 式 会 社 代表取締役 山中政広 TEL 0173-63-2401 FAX 0173-63-2493	管 理 建 築 士				承認	設計	担当	縮 尺		工事名称 新宮団地市営住宅(No.28号棟)建替建設(機械設備)工事	NO. M - 0 3	
		一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一								設計年月日			図面名称 機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 3
										R2.2			



備考欄	青森県五所川原市金木町中柏木鎌石250番地 日東綜合株式会社 代表取締役 山中政広 TEL 0173-53-2481 FAX 0173-53-2483	管 理 建 築 士 一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一	承認	設計	担当	縮 尺 1/1000・1/500 設計年月日 R2.2	工事名称	新宮団地市営住宅(No. 28号棟)建替建設(機械設備)工事	N O . M - 0 4
							図面名称	全体配置図・配置図・付近見取図	

衛生器具表

室 名	名 称	仕 様 ・ 規 格 ・ 型 式（参考品番）	数 量	備 考
ト イ レ	洋風便器	BC-ZA10S, DT-ZA180E, CF-18ALJ	2	
	L 型 棚手すり	NKF-3WU2/LP	2	2連紙巻器付き
L D K	シングルレバー混合栓	SF-WL435SYN(170)	2	
	ヒューズコック	Y0F-100F	2	単口型
洗面脱衣室	洗濯機用混合栓	SF-WL63KQAN, A-1897	2	緊急止水弁付き
	洗濯機用排水トラップ	THS	2	差込型木板用
	湯抜栓	20A×600L MT-II-D	2	250口プラスチック製浸透桝共
サンルーム	水抜栓	20A×600L MT-II	2	250口プラスチック製浸透桝共
洗面脱衣室・サンルーム	床用開閉器	U-JB	4	

換気機器表

室 名	記 号	名 称	仕 様 ・ 規 格 ・ 型 式（参考品番）	数 量	備 考
L D K	HEU-1	全熱交換器	天井埋込形(電動シャッター付) 能力：100φ×25m ³ /h×45Pa 電力：単相100V-21W VL-100ZSD2	2	SW(P-04SWL2)は電気設備工事に支給
洋室 (5帖、6帖、特定寝室)	HEU-2	全熱交換器	壁掛形(寒冷地仕様) 有効換気量：15m ³ /h×11Pa 電力：単相100V-8.5W VL-08JV2-D	6	SW(P-11SWL2)は電気設備工事に支給 給排気パイプ共
サンルーム	FE-1	換気扇	天井埋込形(低騒音形) 能力：100φ×65m ³ /h×35Pa 電力：単相100V-7.2W VD-10ZC12-C	2	
ト イ レ	FE-2	換気扇	天井埋込形(低騒音形) 能力：100φ×62m ³ /h×35Pa 電力：単相100V-7.2W VD-10ZC12-C	2	
HEU-2用	VC-1	壁掛1パイプ取付 タイプ専用フード	100φ、角形SUS製、防虫網付 P-50VSQ5	6	指定色焼付塗装
レンジフード用	VC-2	深形スクエア フード	150φ、SUS製、ギャラリ・防虫網付 AT-150HWS	4	指定色焼付塗装 レンジフード本体は建築工事
HEU-1、FE-1・2 UB親子換気扇用	VC-3	深形スクエア フード	100φ、SUS製、ギャラリ・防虫網付 AT-100HWS	10	指定色焼付塗装 UB親子換気扇本体は建築工事

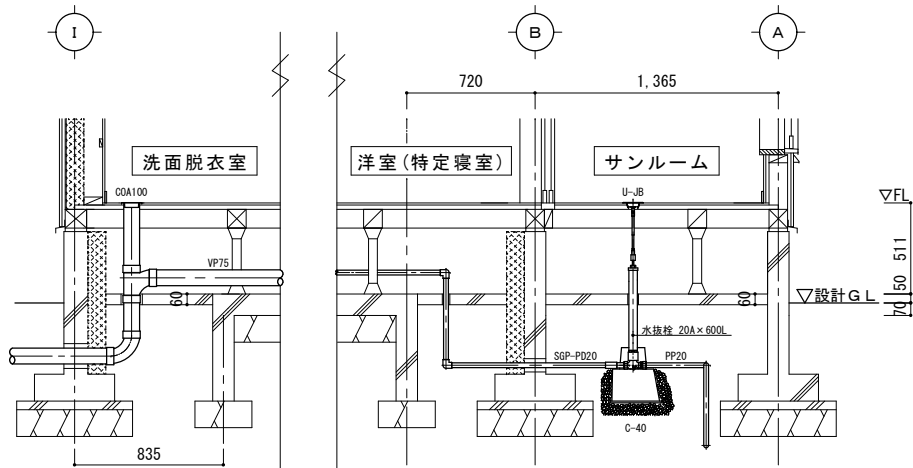
注) レンジフード、UB親子換気扇のダクト接続及びUB親子換気扇の副グリル取付け(洗面脱衣室)は本工事。

保温・塗装仕様

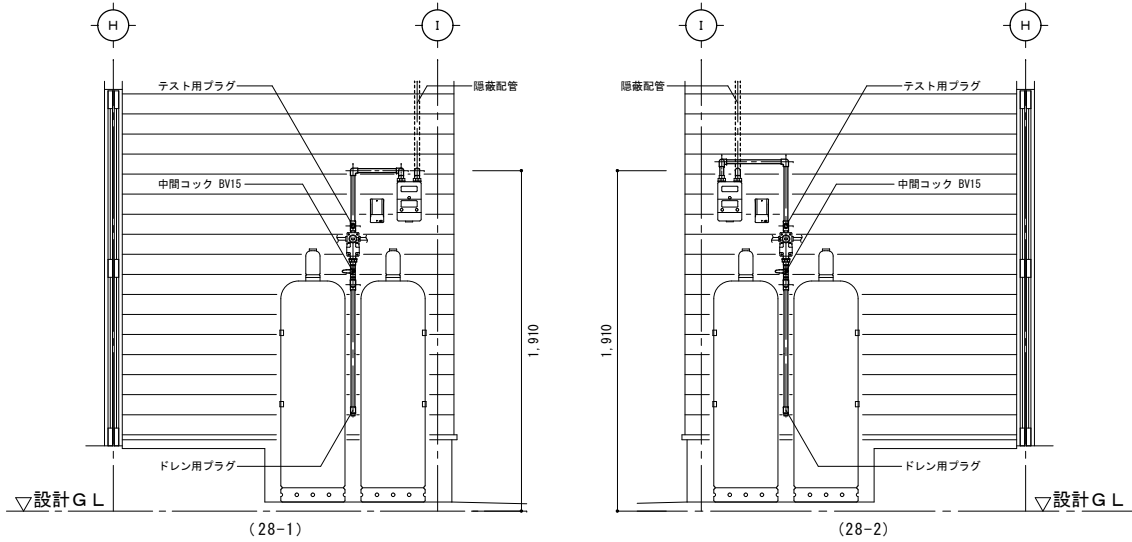
給水管	屋内隠蔽：C2・(ハ)・Ⅶ	アルミガラスクロス化粧(P)保温筒t=20+アルミガラスクロス粘着テープ
	床下：d・(ハ)・Ⅶ	(P)保温筒t=20+粘着テープ+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス
	屋内露出：a2・(ハ)・Ⅶ	(P)保温筒t=20+粘着テープ+合成樹脂カバー2
給湯管	屋内隠蔽：C2・(イ)・I	アルミガラスクロス化粧(R)保温筒t=20+アルミガラスクロス粘着テープ
	床下：d・(イ)・I	(R)保温筒t=20+鉄線+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス
	屋内露出：a2・(イ)・I	(R)保温筒t=20+鉄線+合成樹脂カバー2
一般換気ダクト	屋内隠蔽：N・(イ)・XI	アルミガラスクロス化粧(R)保温帯t=25+アルミガラスクロス粘着テープ
レンジフード用排気ダクト	屋内隠蔽：h・(イ)・IX	(R)保温帯t=50+鉄線+アルミガラスクロス+亀甲金網
ガス管	屋外露出：エッチングプライマー1回＋液形変性エポキシ樹脂錆止めペイント1回＋調合ペイント(SOP)2回	

給湯機器表

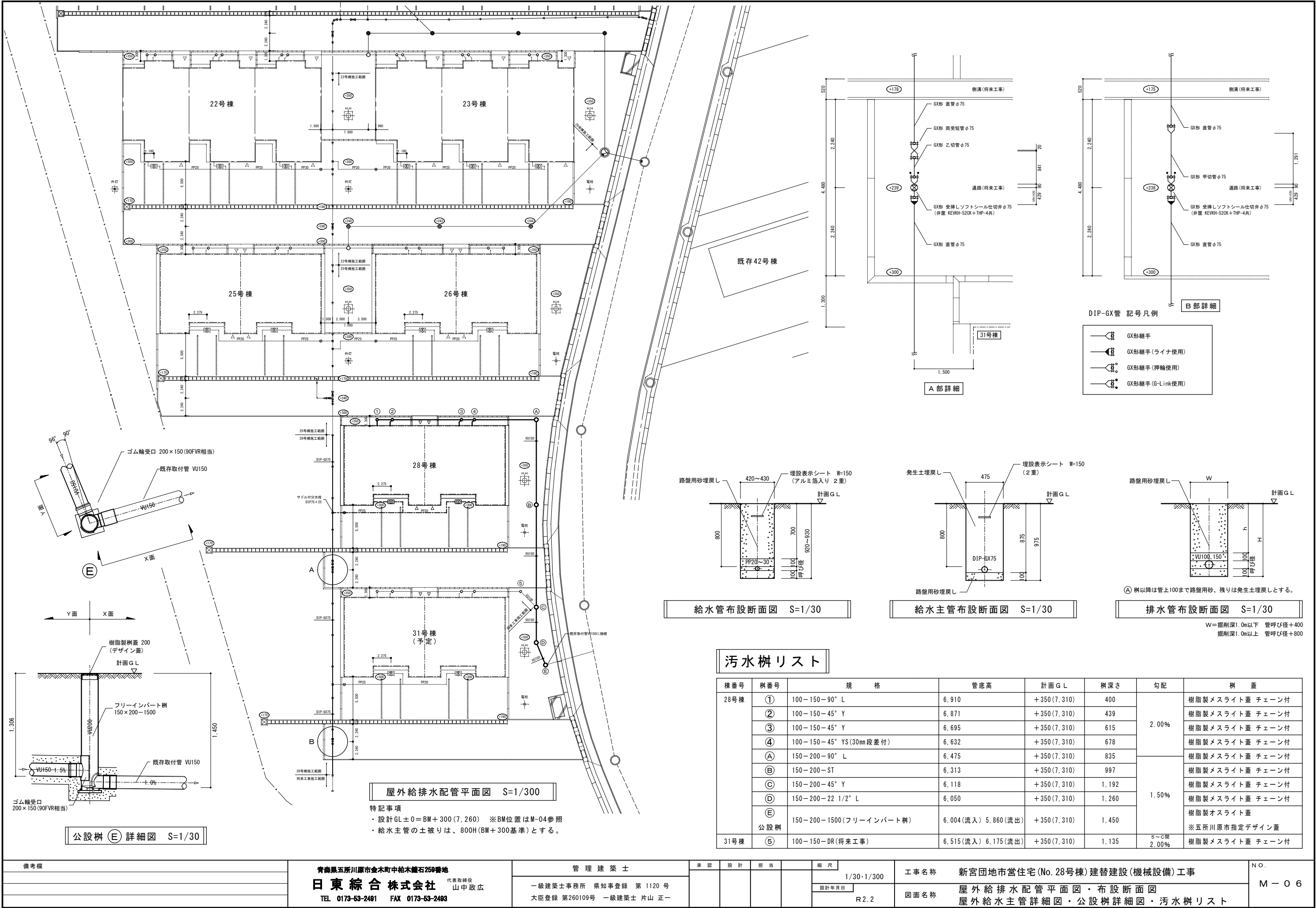
室 名	記 号	名 称	数 量
洗面脱衣室	WHG-1	ガス給湯器	2
仕 様 ・ 規 格 ・ 型 式（参考品番）			
型式：FF式壁掛型 20号 (給湯専用) RUX-V2005SFFUA			
給湯ガス消費量：43.6kW			
電力：単相100V-56W(ヒーター作動時74W)			
付属品及び給排気筒トップ(TFW-110×75C-300C(K)L)一式			
BV20、フレキシブルチューブ20A×300L×2			
ガス用BV15、ガス用フレキシブルジョイント15A×300L			

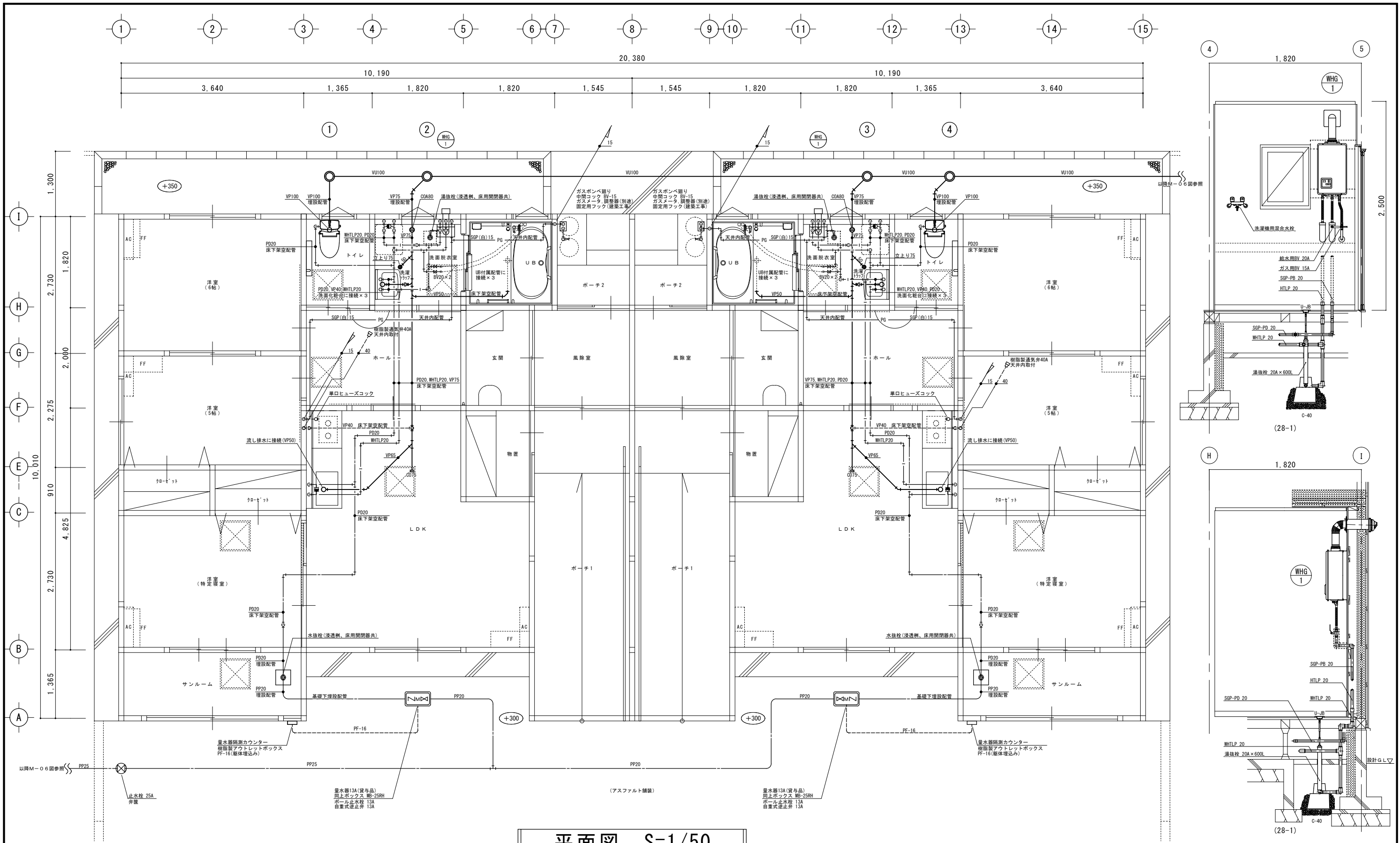


基礎貫通配管断面図(参考) S=1/30



ガスボンベ廻り配管図(参考) S=1/30

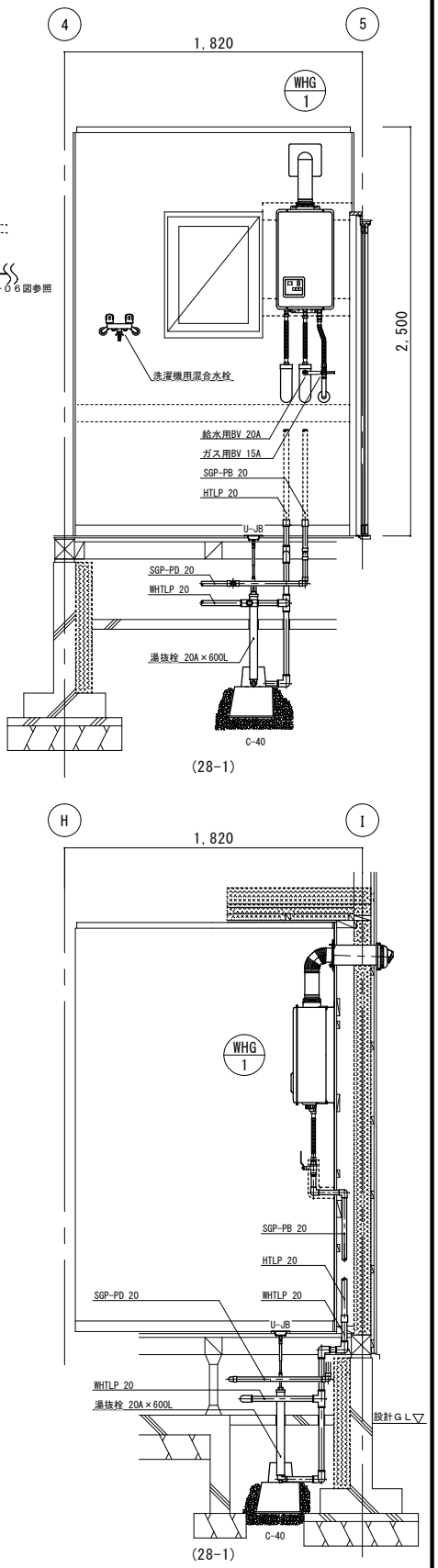




平面図 S=1/50



床下点検口 600×600 (建築工事)



ガス給湯器廻り配管図 (参考) 1/30

<p>備考欄</p>	<p>青森県五所川原市金木町中柏木鎌石259番地 日 東 綜 合 株 式 会 社 代表取締役 山中政広 TEL 0173-53-2481 FAX 0173-53-2483</p>	<p>管 理 建 築 士 一級建築士事務所 県知事登録 第1120号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一</p>	<p>承認 設計 担当 縮 尺 1/50・1/30 設計年月日 R2.2</p>	<p>工事名称 新宮団地市営住宅 (No. 28号棟) 建替建設 (機械設備) 工事 図面名称 給排水衛生設備 平面図・ガス給湯器廻り参考図</p>	<p>NO. M - 0 7</p>
------------	--	--	--	--	------------------------

